

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	サレジオ工業高等専門学校
設置者名	学校法人 育英学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
専攻科課程	生産システム工学専攻	夜・通信	0	0	8	8	7	
進学士課程	デザイン学科	夜・通信		36	40	7		
	電気工学科	夜・通信		8	12	7		
	機械電子工学科	夜・通信		8	12	7		
	情報工学科	夜・通信		6	10	7		
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

(URL) http://www.salesio-sp.ac.jp/main/syllabus/index.html

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	サレジオ工業高等専門学校
設置者名	学校法人 育英学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人 育英学院 ホームページ http://www.salesio-sp.ac.jp/main/about_us/ikueigakuin.html

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	2019.4.15～ 2022.4.14	法務・労務
非常勤	金融関係	2019.4.15～ 2022.4.14	財務
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	サレジオ工業高等専門学校
設置者名	学校法人 育英学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業担当者は「シラバス作成のガイドライン」に従い授業計画書を作成する(1月)所属長は、授業担当者から提出された授業計画書の原稿を点検し、必要であれば授業担当者へ修正を依頼する(3月下旬)。授業担当者は初回の授業で授業計画書を学生へ配布し授業計画書の記載内容を説明する(前期・通年科目:4月、後期科目:9月)。一方、全ての授業計画書は製本されPDF冊子として本校ホームページにて学生・保護者等へ公開される(6月)。 さらに、準学士課程の学生へは選択科目履修ガイダンスを、専攻科課程の学生へはJABEE教育プログラム説明会および入学時のガイダンスを実施している。</p>	
授業計画書の公表方法	http://www.salesio-sp.ac.jp/main/syllabus/index.html
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 成績評価・単位認定についてはサレジオ工業高等専門学校教務規則に定められており、全学生に配布される学生便覧(info)に記載され周知が図られている。 各科目の評価については、シラバスに記載された評価方法に従い、到達目標の達成状況を100点満点で総合的に判断している。また、成績報告のマニュアルを策定し、年間数回の成績操行会議を開催し、規定に基づいて運用している。さらに単位認定については年度末に及落判定会議及び卒業・修了判定会議を開催し、規程に基づいて運用している。 さらに、学生及び保護者による成績評価に関する意見申立についても規程に定められており、教員・学生双方から成績評価の透明性を担保する取組をしている。 (参考: http://www.salesio-sp.ac.jp/main/about_us/regulations.html)</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) (準学士課程)</p> <p>準学士課程では、各科目の成績を点数(100点満点)で評価し、対象となる科目(必修科目および選択必修科目、ただし合否・認否科目を除く)成績の平均点を算出する。学生へは4半期毎に履修科目の成績、対象科目の平均点による学科クラス内順位を「成績通知書」にて提示している。</p> <p>(専攻科課程)</p> <p>専攻科課程では、各科目の成績を点数(100点満点)で評価し、履修科目(不合格科目および合否・認否科目を除く)成績の平均点を算出する。学生へは半期毎に履修科目の成績を提示するとともに、JABEEプログラム到達度チェックシートにて履修科目成績の平均点によるJABEEプログラム総合達成度を提示している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>http://www.salesio-sp.ac.jp/main/about_us/regulations.html</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) (準学士課程)</p> <p>[内容]: A. 基礎力、B. 実践力、C. コミュニケーション力、D. 人間性、E. 国際性に関する能力を身に付け、167単位以上(一般科目75単位以上、専門科目82単位以上およびすべての必修科目を含む)を修得した学生に対して卒業を認定する。 [実施状況]: 卒業の認定方針に定められた身に付けるべき能力は、教育課程における必修単位の授業に対応付けられており、各能力に対応する授業の単位修得をもってその能力が身に付いたものとしている。また卒業の認定は、卒業判定会議において単位修得状況を確認したうえで、卒業の認定方針に定められた修得単位数を満たす者について認められている。</p> <p>(専攻科課程)</p> <p>[内容]: A. 基礎力、B. 専門力、C. コミュニケーション力、D. 人間性、E. 国際性に関する能力を身に付け、専攻科課程において62単位以上(すべての必修科目を含む)を修得した学生に対して修了を認定する。 [実施状況]: 修了の認定方針に定められた身に付けるべき能力は、教育課程における授業に対応付けられており、各能力に対応する授業の単位修得をもってその能力が身に付いたものとしている。また修了の認定は、専攻科修了判定会議において単位修得状況を確認したうえで、修了の認定方針に定められた修得単位数を満たす者について認められている。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>http://www.salesio-sp.ac.jp/main/education/diploma_policy.html</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	サレジオ工業高等専門学校
設置者名	学校法人 育英学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.salesio-sp.ac.jp/main/disclosure/index.html
収支計算書又は損益計算書	http://www.salesio-sp.ac.jp/main/disclosure/index.html
財産目録	http://www.salesio-sp.ac.jp/main/disclosure/index.html
事業報告書	http://www.salesio-sp.ac.jp/main/disclosure/index.html
監事による監査報告(書)	http://www.salesio-sp.ac.jp/main/disclosure/index.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: http://www.salesio-sp.ac.jp/main/about_us/self_assessment.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: http://www.salesio-sp.ac.jp/main/about_us/hyouka.html

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名
教育研究上の目的 (公表方法: http://www.salesio-sp.ac.jp/main/education/purpose.html)
(概要) 本校は学校教育法により、深く専門の学芸を教授し、高度の工業専門教育を施し、カトリック・サレジオ修道会の教育理念に基づいて国家及び社会の有為な形成者として必要な資質を養い、個性の確立伸長に努めることを目的とする(学則第 1 条)。
卒業の認定に関する方針 (公表方法: http://www.salesio-sp.ac.jp/main/education/diploma_policy.html)
(概要) (準学士課程) A. 基礎力、B. 実践力、C. コミュニケーション力、D. 人間性、E. 国際性に関する能力を身に付け、167 単位以上(一般科目 75 単位以上、専門科目 82 単位以上およびすべての必修科目を含む)を修得した学生に対して卒業を認定する。 (専攻科課程) A. 基礎力、B. 専門力、C. コミュニケーション力、D. 人間性、E. 国際性に関する能力を身に付け、専攻科課程において 62 単位以上(すべての必修科目を含む)を修得した学生に対して修了を認定する。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: http://www.salesio-sp.ac.jp/main/education/curriculum_policy.html)
(概要) (準学士課程) 準学士課程では、ディプロマ・ポリシーに示す能力を身に付けさせるために、5 年一貫教育を念頭に置いて、一般科目、専門科目及びその他必要な科目に対して、編成方針(5 方針)・実施方針(2 方針)・評価方針(3 方針)を定めこれらに基づいて教育を行う。 (専攻科課程) 専攻科課程では、専攻科が掲げる「Tの字型教育」(入学までに身に付けた専門基礎に関する学修成果を縦棒とし、これに立脚する横棒を専攻科課程の「複合領域教育」としたものの)により、ディプロマ・ポリシーに示す能力を身に付けさせるために、一般科目、専門科目およびその他必要な科目に対して、編成方針(4 方針)・実施方針(3 方針)・評価方針(3 方針)を定めこれらに基づいて教育を行う。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法: http://www.salesio-sp.ac.jp/main/education/admission_policy.html)
(概要) (準学士課程) 準学士課程では、ディプロマ・ポリシーに示される「基礎力」、「実践力」、「コミュニケーション力」、「人間性」、「国際性」を備えた技術者を育成するために、入学者に求める 4 つの人物像を示し、そのような学生を受け入れるために、AO入学者選抜、推薦入学者選抜、学力入学者選抜など 8 つの多様な入学者選抜を実施する。 (専攻科課程) 専攻科課程では、ディプロマ・ポリシーに示される「基礎力」、「専門力」、「コミュニケーション力」、「人間性」、「国際性」を備えた技術者を育成するために、入学者に求める 4 つの人物像を示し、そのような学生を受け入れるために、推薦入学者選抜、学力入学者選抜を実施する。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：http://www.salesio-sp.ac.jp/main/about_us/organization.html

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
デザイン学科	—	1人	6人	0人	0人	0人	7人
電気工学科	—	4人	1人	3人	0人	0人	8人
機械電子工学科	—	2人	3人	1人	1人	0人	7人
情報工学科	—	3人	2人	2人	0人	0人	7人
一般教育科	—	6人	7人	5人	3人	0人	21人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
0人			51人				51人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://www.kenkyu.salesio-special.com/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
デザイン学科	45人	38人	84.4%	225人	189人	84%	若干名人	0人
電気工学科	45人	23人	51.1%	225人	160人	71.1%	若干名人	0人
機械電子工学科	45人	43人	95.5%	225人	237人	105.3%	若干名人	0人
情報工学科	45人	40人	88.8%	225人	215人	95.5%	若干名人	0人
合計	180人	144人	80%	900人	801人	89%	人	0人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
デザイン学科	33人 (100%)	15人 (45%)	11人 (33%)	7人 (21%)
電気工学科	37人 (100%)	9人 (24%)	27人 (72%)	1人 (2%)
機械電子工学科	52人 (100%)	17人 (33%)	34人 (65%)	1人 (2%)
情報工学科	39人 (100%)	16人 (42%)	18人 (46%)	5人 (12%)
合計	161人 (100%)	57人 (35%)	90人 (56%)	14人 (9%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
<p>授業担当者は「シラバス作成のガイドライン」に従い授業計画書を作成する(1~2月)。所属長は、授業担当者から提出された授業計画書の原稿を点検し、必要であれば授業担当者へ修正を依頼する(3月)。授業担当者は初回の授業で授業計画書を学生へ配布し授業計画書の記載内容を説明する(前期・通年科目:4月、後期科目:9月)。一方、全ての授業計画書は製本されPDF冊子として本校ホームページにて学生・保護者等へ公開される(6月)。</p> <p>さらに、準学士課程の学生へは選択科目履修ガイダンスを、専攻科課程の学生へはJABEE教育プログラム説明会および入学時のガイダンスを実施している。</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>授業科目の学習成果の評価についてはサレジオ工業高等専門学校教務規則に定められており、全学生に配布される学生便覧(info)に記載され周知が図られている。</p> <p>各科目の評価については、シラバスに記載された評価方法に従い、到達目標の達成状況を100点満点で総合的に判断している。また、成績報告のマニュアルを策定し、年間数回の成績操行会議を開催し、規定に基づいて運用している。さらに単位認定については年度末に及落判定会議及び卒業・修了判定会議を開催し、規程に基づいて運用している。</p> <p>(準学士課程)</p> <p>A. 基礎力、B. 実践力、C. コミュニケーション力、D. 人間性、E. 国際性に関する能力を身に付け、167単位以上（一般科目75単位以上、専門科目82単位以上およびすべての必修科目を含む）を修得した学生に対して卒業を認定する。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
専攻科課程	生産システム工学 専攻	62 単位	有・無	単位
準学士課程	デザイン学科	167 単位	有・無	単位
	電気工学科	167 単位	有・無	単位
	機械電子工学科	167 単位	有・無	単位
	情報工学科	167 単位	有・無	単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

<p>公表方法：公表方法： http://www.salesio-sp.ac.jp/main/about_salesio/student_support_center.html</p> <p>キャンパス概要 http://www.salesio-sp.ac.jp/main/support_center/facility.html</p> <p>課外活動の状況 http://www.salesio-sp.ac.jp/main/campuslife/club.html</p> <p>その他学修環境 キャリアセンター http://www.salesio-sp.ac.jp/main/support_center/career_center.html 総合メディアセンター http://www.salesio-sp.ac.jp/main/support_center/media_center.html 応用技術センター http://www.salesio-sp.ac.jp/main/support_center/applied_tech_center.html 地域交流センター http://www.salesio-sp.ac.jp/main/support_center/regional_ex_center.html 国際交流センター http://www.salesio-sp.ac.jp/main/support_center/international_ex_center.html 基礎教育センター http://www.salesio-sp.ac.jp/main/support_center/academic_support_center.html 学生支援センター http://www.salesio-sp.ac.jp/main/support_center/assistenza_center.html</p>
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
準学士課程	デザイン学科	960,000 円	0 円	285,000 円	準学士課程 4・5 年共通 1 年次入学金 300,000 円 実験実習費、施設設備費、校費
	電気工学科				
	機械電子工学科				
	情報工学科				
専攻科課程	生産システム工 学専攻	900,000 円	150,000 円	385,000 円	専攻科課程 1・2 年共通 実験実習費、施設設備費、校費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 成績不振の学生については、定期的な会議等で情報共有し、学科ごとに個別に適切な支援を行なっている。更に基礎教育センターでは、補講などで成績の改善を図っている。また、学生支援センターでは、修学支援相談員が学生及び保護者からの相談に応じている。「修学支援申請書」の提出を受けた場合は、関係部署にて提供可能な支援を検討し、当該学生・保護者の同意を得た上で実際に支援を提供するシステムとなっている。また、学生の学会発表・特別活動に係る参加費、交通費の補助なども行っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 進路選択支援は、キャリアセンターを中心に行われている。 低学年では主に自分についての振り返りと自己研鑽を目的に「キャリア講演会」や「サマースクール」を行う。また、将来のキャリアを見据えた「資格取得支援」も行っている。高学年では具体的な進路選択を促すために卒業生を講師としたキャリアデーや地元企業及び大学による説明会などで進路の調査研究を行っている。また、5 年生と専攻科 2 年生を対象に社会人としての意識を高めることを目的に社会人講座を行っている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 学生の心身の健康等に係る支援については、学生支援センターを中心に行われている。また、担任や研究室指導教員、学年会議や学科会議等で情報が共有され、対応している。学生支援センターの学生生活相談員（看護師）が学生及び保護者からの相談に応じている。また、学生生活相談員とは別にカウンセラー（公認心理師・臨床心理士）が平日午後常駐し、学生及び保護者に対するメンタル面でのサポートを提供するシステムとなっている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法 : <http://www.salesio-sp.ac.jp/index.html>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	G113310000011
学校名	サレジオ工業高等専門学校
設置者名	学校法人 育英学院

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		26人	13人	28人
内 訳	第Ⅰ区分	15人	13人	
	第Ⅱ区分	-	-	
	第Ⅲ区分	11人	-	
家計急変による支援対象者（年間）				-
合計（年間）				28人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)		0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況		0人	0人
「警告」の区分に連続して該当		0人	0人
計		0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
年間	前半期	後半期	
		0人	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	—
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)		0人	0人
G P A等が下位4分の1		0人	—
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況		0人	0人
計		0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。